

就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	マザーアース新発田	
人員配置区分	① I型(7.5:1) 2. II型(10:1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 ⑤ 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 ⑤ 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし(経過措置対象)	
評価点の公表	インターネット利用	(公表場所) 事業所のホームページ (URL) http://motherearthlove.me/
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法(令和3年厚生労働省告示第88号)に基づき評価点を算出すること。
なお、別添様式も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし(経過措置対象)」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。
なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	8,982	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,852	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（7月～6月）

前々々年度（R5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	5,631,845	円	利用者に支払った賃金総額	10,308,999	円	収支	▲ 4,677,154	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前々年度（R6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,893,979	円	利用者に支払った賃金総額	11,154,729	円	収支	▲ 4,260,750	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前年度（R7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,950,790	円	利用者に支払った賃金総額	10,535,391	円	収支	▲ 3,584,601	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（7年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度を定めている

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（7年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している

② 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している

※研修名 利き腕セミナー
 研修講師 中 短也講師 中元 俊太講師
 実施日・受講者数 10月 10日 13人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名 日本縦断 20のA型事業所が贈る「アセスメントの実践」
 実施日 3月 13日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ 就労継続支援A型におけるアセスメントの多様性と実践

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名
 実施日/参加者数 月 日 人
 ※他の事業所名
 実施日/参加者数 月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している

※商談会等名 しばた 寺開き
 主催者名 株式会社 花安
 日時 5月 31日～
 内容 自社製品の販売 自社の説明、情報提供

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している

⑥ 当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 7年 5月 30日
 人事評価制度の対象職員数 9名
 うち昇給・昇格を行った者 9名
 当該人事評価制度の周知方法 個別に代表社員から通達

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している

⑦ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 4月1日～3月31日
 就業時間 8:30～17:30
 職務内容 職業指導員

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日
 第三者評価機関

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(VI) 経営改善計画

① 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 令和 7年 9月 16日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	マザーアース新発田	事業所番号	15010600305
住所	新潟県新発田市西園町1-8-6	管理者名	齋藤 圭介
電話番号	0254-24-7171	対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 新発田建設株式会社</p> <p>実施日程 令和8年1月～</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>タイル剥がし（紙に接着されたタイルを剥がし、分別する）</p> <p>利用者数 等</p> <p>職員1名、利用者2名のユニット 週2回／2時間半</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 即戦力の確保と、ダイバーシティ経営の実現</p> <p>地域にとってのメリット 福祉と経済の循環による、持続可能な地域づくり</p> <p>対象者にとってのメリット 実践的なスキルの習得と、地域の一員としての手応え</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 人手不足の解消や、工程の効率化に貢献したこと</p> <p>得られた成果 福祉と産業が混ざり合う、理想的な地域モデルを構築できたこと</p> <p>課題点 実務スキルと要求水準のギャップ 環境変化への適応支援</p>	

連携先の企業等の意見または評価

この度は、真冬の寒い中に水を使う作業をして頂き有難う御座いました。

タイルから紙シートを剥がす作業は、水に浸す時間が長すぎても短すぎても綺麗に剥がすことが出来ず、タイミングを計るのに大変苦慮された事と思います。

試行錯誤で最良解を導き、真剣に作業に取り組む皆様の姿に深く感謝申し上げます。

お陰で下小屋倉庫の整理が進むことが出来、職員一同、大変喜んでおります。



ありがとうございました。

連携先企業名	新発田建設株式会社	担当者名	小島 喜恭 様
--------	-----------	------	---------

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	マザーアース新発田	事業所番号	1510600305
住 所	新潟県新発田市西園町1-8-6	管理者名	齋藤 圭介
電話番号	0254-24-7171	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 マザーアース新発田（オンラインによる研修）</p> <p>実施日程 第1回目 令和7年12月11日(木) 13:00～14:30 第2回目 令和8年2月3日(火)13:00～14:30</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ kimochipusを活用した自己管理能力の向上目的 ・ 講師：ネクストワン合同会社 永木 みのり様 <p>参加人数：A型利用者（9名） 職員（7名）</p>	<p><活動の様子> 第1回目 R7.12.11</p>  <p>第2回 R8.2.3</p> 
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ kimochipusを活用することで、自己管理能力、自己理解能力、事故対応能力の向上を図る。 <p>利用者にとってのメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日状態を記録する事で、不調のサインを把握し、早期に体調改善に向けて修正できる。 	
<p><成果></p> <p>実施した結果 各利用者の方々が、新しい事へ向け一緒に取り組むことで一体感が生まれた。</p> <p>得られた成果 kimochipusを活用する事で目に見える長期体調の波を把握する事が出来た。</p> <p>課題点 長期的に記録する事で見えてきた課題の解決へ向け、調整していく事が必要。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

利用者様が、体調の可視化とセルフケアを素直に、前向きに実施して下さったのが印象的でした。それは、職員の皆様がセルフケアの重要性を理解してくださり、どう運営に落とし込むかを検討してくださったからだと思います。結果として、利用者様のほうでの気づきが生まれたと感じています。「体調が悪いのでどうしたらいいか」ではなく、「××（セルフケア）をやってみたけれど体調が悪いのでどうしたらいいか」の問いに変わっている方も早速いっちゃったので、体調の波を理解してうまく付き合っていけるようになることで、「自分らしく働く」を実現していただけたらと願っています。

連携先企業（担当者） ネクストワン合同会社 永木 みのり講師

利用者からの意見・評価

キモチプラスを使用して、普段の体調からの変化、睡眠の状態による体調の変化、疲れ等による体調、調子の変化、セルフケアによるその日の体調に合わせた自己調整を行い、自身の体調や調子に向き合う事が段々と出来てきたように思います。また、自身と向き合えることで「自身はこういう時にこうなる。だから、このように対策すればいい方向に体調、調子が向く」と思えるようになりました。